

【編集部より】 現代の情報資本主義論を専門とする経済学者で、富山大学名誉教授の小倉利丸さん。今般ウクライナ紛争1年を経てなお停戦への展望もない世界情勢を踏まえ、国家暴力の最大最終形態としての「戦争」を放棄するための最新試論が氏独自視点で氏主宰の情報サイトで縦横に論じられている。その前半の概略を連載紹介する。全容を確認されたいと思われる読者は、ne plu kapitalismo 小倉利丸サイトにてその論考に直接して頂きたい。

ウクライナでの戦争1年目に考える 戦争を拒否する権利と「人類前史」の終らせ方について(下)



戦争放棄のラディカリズムへ

Table of Contents

- 1.ウクライナ戦争の影響
- 2.防衛予算は「ゼロ回答」以外に選択の余地はない
- 3. 国家と民衆の利害は一致しない
- 4. 難民について
- 5. 暴力についての原則的理解
- 6. 9条の限界と戦争放棄の新たなパラダイム

- 7.二人のファン——締め括りのためのひとつの重要な宿題として
- 8. 参考文献

③ 国家と民衆の利害は一致しない

「日本が理不尽に他国から侵略されても、あなたは日本を守るために戦つてもいいが、私は、国家間の諍に私を養ひまわりたい」と、Iris no.10 businessと考えるの、私は日本をどうする、という発想は、そもそもどうして聞かないのか、私に押し込めて、国家のアイデンティティに収容させるように作用する説教や埋もれた必要がある戦争は、問題

「日本が理不尽に他国から侵略されても、あなたは日本を守るために戦つてもいいが、私は、国家間の諍に私を養ひまわりたい」と、Iris no.10 businessと考えるの、私は日本をどうする、という発想は、そもそもどうして聞かないのか、私に押し込めて、国家のアイデンティティに収容させるように作用する説教や埋もれた必要がある戦争は、問題

④ 難民について

戦争放棄の最大の体現者は、戦場から逃れた難民たちや戦火にありながら武器を捨てずに、命懸けで日常生活を送つてきた人々だ。法制度上では、兵役拒否裁判で闘つたか、軍隊からの脱走を選択する人達、こうした人達が戦時中において多数者であるはずなのに、難民として扱われるのは、15万人以上の動員対象者が出国し、ウクライナから西欧へ入国し、兵役義務者が17万000人、ヘルシについて、出国した兵隊対象者が1万0000人という排外だ。

戦争放棄の最大の体現者は、戦場から逃れた難民たちや戦火にありながら武器を捨てずに、命懸けで日常生活を送つてきた人々だ。法制度上では、兵役拒否裁判で闘つたか、軍隊からの脱走を選択する人達、こうした人達が戦時中において多数者であるはずなのに、難民として扱われるのは、15万人以上の動員対象者が出国し、ウクライナから西欧へ入国し、兵役義務者が17万000人、ヘルシについて、出国した兵隊対象者が1万0000人という排外だ。

兵隊を意図して軍から脱走して、様々な手段を使って武装とらぬ難民として国外に逃れた人達、出国して兵隊対象者が1万0000人という排外だ。兵隊を意図して軍から脱走して、様々な手段を使って武装とらぬ難民として国外に逃れた人達、出国して兵隊対象者が1万0000人という排外だ。

⑤ 国家と民衆の利害は一致しない

ここで民衆側問われるのは、「私という主体が私が帰属すると決められている国家との関係だ。国家としての自国に化が強調されたら、私は自国の戦争を命がけで引き受けなければならない」と感じてもいい。しかし、世界の紛争地域で実際に起きているのは、多くの人が武力で暴力を選択するのではなく、別の選択を必死で模索している。どうして、地下で密かに隠れて戦争が終息することを祈るか、わずかな可能性を求めて戦場地域からの避難を試みる。自らの命を犠牲にするのではなく、誰か殺さなくても済むように、戦争を拒否する。ロシアもウクライナも傭兵

この観点がまた、日本は平和主義者として世界で稀にあるほど声を上げてきた。国家としてどう見えてきたら、なせならば、日本はほとんどの難民を受け入れていないから。戦争から逃れようとする人本には手を差し出さない日本は、何の意味も持たない。この観点がまた、日本は平和主義者として世界で稀にあるほど声を上げてきた。国家としてどう見えてきたら、なせならば、日本はほとんどの難民を受け入れていないから。戦争から逃れようとする人本には手を差し出さない日本は、何の意味も持たない。この観点がまた、日本は平和主義者として世界で稀にあるほど声を上げてきた。国家としてどう見えてきたら、なせならば、日本はほとんどの難民を受け入れていないから。戦争から逃れようとする人本には手を差し出さない日本は、何の意味も持たない。

この観点がまた、日本は平和主義者として世界で稀にあるほど声を上げてきた。国家としてどう見えてきたら、なせならば、日本はほとんどの難民を受け入れていないから。戦争から逃れようとする人本には手を差し出さない日本は、何の意味も持たない。この観点がまた、日本は平和主義者として世界で稀にあるほど声を上げてきた。国家としてどう見えてきたら、なせならば、日本はほとんどの難民を受け入れていないから。戦争から逃れようとする人本には手を差し出さない日本は、何の意味も持たない。

⑥ 国家と民衆の利害は一致しない

しかし、現在のロシアやウクライナに於ける徴兵拒否者への扱いをみればわかるように、現実の汎国家は国家の生存を人々の生存よりも上位に置き、人々の犠牲によって国家の延命を図ってきた。現在のウクライナの戦争は、上層経緯と兵士と市民のメンツのため、双方の死者の数がたゞは積み上げられるまでならぬ。ロシアは、東部で軍事キエフの敗北を支持する住民をロシアの占領地として、平等に住居して扱おうとする。これは、領土をめぐる争奪という観点からみた最適な武力行使の選択が、人々の命の犠牲を最小化した。この最善の選択は、兵士と市民の命の犠牲を最小化した。この最善の選択は、兵士と市民の命の犠牲を最小化した。この最善の選択は、兵士と市民の命の犠牲を最小化した。

この観点がまた、日本は平和主義者として世界で稀にあるほど声を上げてきた。国家としてどう見えてきたら、なせならば、日本はほとんどの難民を受け入れていないから。戦争から逃れようとする人本には手を差し出さない日本は、何の意味も持たない。この観点がまた、日本は平和主義者として世界で稀にあるほど声を上げてきた。国家としてどう見えてきたら、なせならば、日本はほとんどの難民を受け入れていないから。戦争から逃れようとする人本には手を差し出さない日本は、何の意味も持たない。

この観点がまた、日本は平和主義者として世界で稀にあるほど声を上げてきた。国家としてどう見えてきたら、なせならば、日本はほとんどの難民を受け入れていないから。戦争から逃れようとする人本には手を差し出さない日本は、何の意味も持たない。この観点がまた、日本は平和主義者として世界で稀にあるほど声を上げてきた。国家としてどう見えてきたら、なせならば、日本はほとんどの難民を受け入れていないから。戦争から逃れようとする人本には手を差し出さない日本は、何の意味も持たない。



ミサイルよりも外交を。沖縄を、島々を戦場にするな!

6月4日、琉球新報、沖縄タイムス、朝日本新聞、東京新聞に掲載

この運動の中心は琉球新報、沖縄タイムス、朝日本新聞、東京新聞に掲載
共同署名

意見広告



辺野古新基地建設断念、米海兵隊撤退。基地のない平和な沖縄、そして日本を。沖縄をアジアへ、世界へ、希望をつなげる「平和の拠点」に

1 米軍基地を段階させ、速退させよう!
米軍基地への「法の支配」求めて提訴

米軍基地の存在は、沖縄県民の生活と健康に深刻な影響を及ぼしている。また、基地の拡張や移転は、環境破壊や騒音・振動の問題を生み出している。私たちは、米軍基地の段階的な削減と、最終的な撤退を求め、法の支配を求めて提訴する。



2 辺野古新基地断念は沖縄の民意です。
国会は請願を受け政府の工事断念の審議と実行を!

辺野古新基地の建設は、沖縄県民の強い反対と民意に反しています。私たちは、国会に請願を提出し、政府の工事断念を求め、審議と実行を促す。



3 戦争を回避し平和構築を!
沖縄にある安全保障のあり方

沖縄は、戦争を回避し平和構築を進めるための重要な拠点です。私たちは、安全保障のあり方を議論し、平和な沖縄を実現するために努力します。



「毎天間断断断断、辺野古やめる、海兵隊いらい」
沖縄意見広告運動
(第14期)

Email info@okinawaiken.org

第14期沖縄意見広告運動
報告集会
6/11
午後 開場

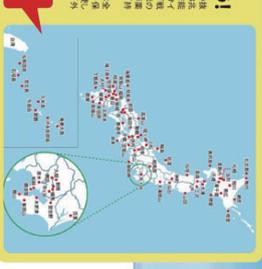
この報告集会は、2023年6月11日(日)午後2時30分から3時30分まで、沖縄県庁第一会議室(沖縄県庁第一本庁舎)で開催されます。報告集会の模様は、沖縄県庁のホームページでも配信いたします。

「軍拡よりも命と暮らしを!」
戦争を回避せよ!
女たちの一致のときだ! 伊波洋一

この報告集会は、2023年6月11日(日)午後2時30分から3時30分まで、沖縄県庁第一会議室(沖縄県庁第一本庁舎)で開催されます。報告集会の模様は、沖縄県庁のホームページでも配信いたします。

「反撃力は日本全国を戦場化する!」
国民の力で政府を「外交と対話」に戻そう!

日本政府は、沖縄県民の生活と健康に深刻な影響を及ぼしている。また、基地の拡張や移転は、環境破壊や騒音・振動の問題を生み出している。私たちは、米軍基地の段階的な削減と、最終的な撤退を求め、法の支配を求めて提訴する。



この報告集会は、2023年6月11日(日)午後2時30分から3時30分まで、沖縄県庁第一会議室(沖縄県庁第一本庁舎)で開催されます。報告集会の模様は、沖縄県庁のホームページでも配信いたします。

沖縄県民の意見広告運動の中心は、琉球新報、沖縄タイムス、朝日本新聞、東京新聞に掲載
共同署名
この運動の中心は琉球新報、沖縄タイムス、朝日本新聞、東京新聞に掲載
共同署名

お問い合わせ先
琉球新報 Tel:03-6382-6537 Fax:03-3389-8573
朝日本新聞 Tel:06-6323-7707 Fax:06-6323-7718
東京新聞 Tel:03-6323-7707 Fax:06-6323-7718

里山から



ある八三歳の女の死 「民主教育」一期生

西沢江美子（農業ジャーナリスト）

八十歳を過ぎると身近な人の訃報が急に多くなる。「コロナ禍で一人の別れが極めて希薄になった。私と同年代（1940年代生まれ）の女性が近所に一人もいた。昭和でいえば15年、この間に茶飲み友だち「三五の会」ができて二十余年、仲間四人の悲しい別れがあった。今回は高齢女性の話を聞いてほしい。

「コロナが五類に変わって、日ごとに変化してきている。その中に、なかなか向いの違う人の流れが目立つ。流行のパンキマのようなパンキマに、幅広くブカブカスパンの女性。赤やオレンジを身につけてお父さんやお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんを連れてくる。ほほえましい風景。『コロナ禍（2年間で）町の底意何かが起きる。』消えてしまった朝顔の高校生に、夜マラソンの中高生労働者。犬の散歩のおおあさんだ。『おはようございます』『お元気』『挨拶だけのの人たちはどこにいったの？』

町底が抜け始めているのかもしれない。私どもの抜けそうな底で動いている。そこには「コロナで疎遠になっていた」「三五の会の人たちも昭和十五年生まれの女という共通項だけの近所の茶飲み」

奈良県メガソーラー問題近況 <報告>

「平群のメガソーラーを考える会」代表世話人 4月平群町議会選トップ当選でさらなる注目



平群の山を破壊するな！メガソーラー建設 断固阻止！

県下の山添村では、2023年2月末にメガソーラー事業者のF1T認定が取り消され、事業者が新F1T価格で再申請するか、それとも撤退するか、注視されている。

平群町では、事業者側の都合で工事が止まっている。業者差止め裁判に加え、法的措置を住民と弁護士が検討している。この間、4月の平群町議会選挙において、平群のメガソーラーを考える会代表

歴史の転換と向き合う人々と共に... 夏期カンパをお願ひします。2023年5月、歴史と世界が転換する中に私たちは居る。歴史の転換と向き合う人々と共に... 夏期カンパをお願ひします。

2023年7月2日(日) 13:30開始〜16:00 於文化センターくまがしホール(平群) 主催：平群のメガソーラーを考える会 ●平群メガソーラー差し止めに賛同 2023年9月21日(木) 11:00開演 於 奈良地裁

武器よさらば 地球温暖化の危機と憲法九条 エマニュエル・バストリッチ著 川瀬俊治編 東方出版刊... 2019年8月 評者：石川直太・奈良県

【今後の予定】 ●7度メガソーラーを再申請する業者をF1T認定取消 ●学術会とコンソーシアム

価格も下がって... 価格も下がって... 価格も下がって... 価格も下がって...

武器よさらば 地球温暖化の危機と憲法九条 エマニュエル・バストリッチ著 川瀬俊治編 東方出版刊... 2019年8月 評者：石川直太・奈良県

- 群馬 ●三光書店 名古里市千原区今池1-6-13 今池スタービル 052730252347 ●丸井書店 岐阜市 0573322281 ●丸井書店 美濃市 0573322281 ●丸井書店 美濃市 0573322281 ●丸井書店 美濃市 0573322281

コモンズ川柳 乱鬼龍

内閣がこんを程度の、日々晒す 沖縄慰霊 そして福島 ウクライナ 返納一揆 マイナカードに 明日はない 汚染水 汚染政治が 垂れ流す 自衛隊 自衛隊を 自衛する

編集室から

すでに崩壊しているマイナカード制度だが、河野大臣は失態を現場のせいにして居座っている。上が腐れば下も腐る。責任を取らなくていい、下の人のせいにしていい、という姿を皆が真似すればそのしわ寄せは若者に向かい、最後は銃弾となって放たれる。政府は焦っている。若者は支配層が嫌がることをしよう、マイナカードは返納し、入隊しなくて済むよう仕事を創り、住む家を手配し、組織的に助け合おう！ (東京)